

・平成22年度フォローアップ結果のポイント

計画期間:平成19年11月～平成25年3月(5年5月)

1. 概況

平成19年11月に認定を受けてから4年目を迎え、目標とする定住人口と交流人口を増やす取組みを実施している。

定住人口の今年度の取組みは、高齢者向け優良賃貸住宅整備25戸、高齢者専用賃貸住宅整備25戸、まちづくり会社による空き家橋渡し成立5戸、住宅用地等購入資金利子補給1戸を達成したが、依然として人口減少に歯止めがかからない状況にある。

都市福利施設や公共交通結節機能が充実しているため、高齢者の中心市街地への居住ニーズが高まり共同住宅が新たに2棟完成したことで、低未利用地の有効活用に大きく寄与している。

中心市街地の居住人口は減少(H19年比 5.8%)が続いているが、特に生産年齢人口(15～64歳)の減少率はH19年比 10.4%と急激に減少しており、生産年齢人口を増やすための定住促進対策が今後の課題である。

交流人口の今年度の取組みは、まちなか観光の環境整備の充実や、魅力ある個店づくりへの支援及び商業活性化への取組みにより、徐々に成果を上げつつある。

今年度のまちなか観光バスツアーは約1万人が訪れ、語り部ガイドによる主要寺社、蔵の辻を散策するコース設定で好評を博したものの、団体客用のトイレ不足対策など受入態勢上の課題や、継続的なツアー誘致活動等、その対策検討が必要である。

蔵の辻における壱の市、参の市は、賑わいの柱として定着し大きな集客効果はあるが、周辺商店街との連携など、更なる魅力向上に向けて今後も継続的な取組みが必要である。

なお、中心市街地の西部に位置する大型商業施設シビィが平成22年3月に閉店後、入居していたテナントの多くは県道沿いや東部の商業施設へ分散移転したため、中心市街地への移転は少なかった。その要因として、優良な空き店舗が少なく、駐車場の確保が困難であったため、今後の課題である。

基本計画に位置付けられた50事業のうち、8事業が完了し、ソフト事業など37事業が現在実施中で、未完了が5事業(うち2事業が未着手)である。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
住みよく、多様な住まい方が できる中心市街地	居住人口	6,320 人 (H19)	6,450 人 (H25)	5,956 人 (H22)		
多様な主体の活動と交流に よる“にぎわう”中心市街地	休日の歩 行者数	994 人 (H19)	1,300 人 (H24)	1,273 人 (H22)		

注) 取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

居住人口

民間事業者による高齢者向け共同住宅が整備された結果、高齢者の居住ニーズを満たしつつある反面、生産年齢人口の流出が続き、自然減の拡大により減少傾向に歯止めがかからず、目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じていく必要がある。

休日の歩行者数

ほぼ計画どおりに事業が進捗し、その効果が表れており、目標達成可能であると見込まれる。

5. 今後の対策

これまでの事業成果を検証のうえ課題を整理し、その対策を検討することで、残りの計画期間で行う事業の見極めを図る。

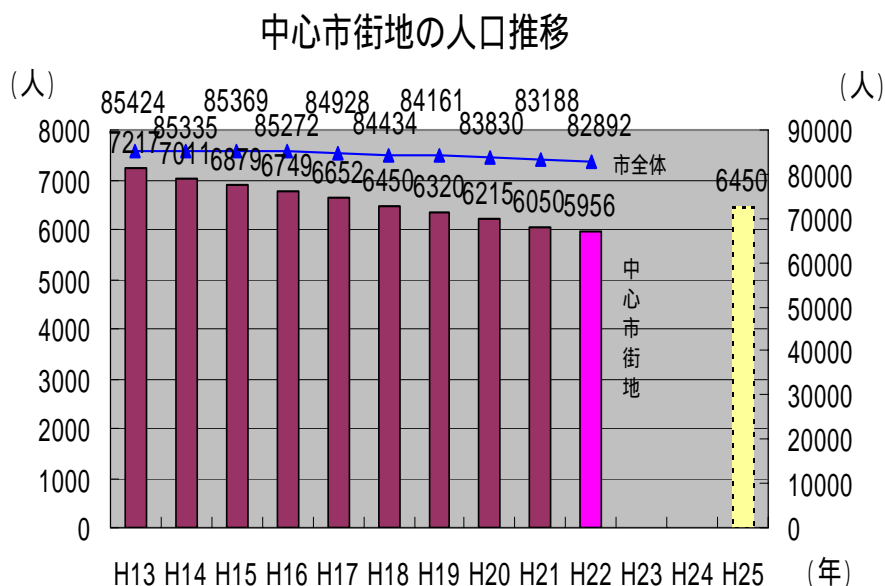
居住人口については、生産年齢人口の減少を抑え、中心市街地の消費需要を喚起するため、今後は土地利用の新陳代謝を促進し、家族世帯向け共同住宅、戸建住宅の整備促進を図り、既存ストック機能の快適性、利便性の向上を推進する。

土地の権利が複雑化しており、土地の流動化を促進し建物更新を図るため、定住促進できる支援事業を検討する。

・目標「居住人口の増加」

「居住人口」 目標設定の考え方基本計画 P 45～P49 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19	6,320 (基準年値)
H20	6,215
H21	6,050
H22	5,956
H23	
H24	
H25	6,450 (目標値)

調査方法；中心市街地区域での住民基本台帳登録人口

調査月；各年4月1日時点の調査

調査主体；越前市

調査対象；中心市街地内居住者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・民間優良共同住宅整備促進事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H27年度
事業概要	10戸以上の民間優良共同住宅の整備を支援する。
事業効果又は進捗状況	H21年度までに57戸が整備され、H22年度は25戸の家族世帯向け共同住宅を整備開始した。

・高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H27年度
事業概要	高齢者向け優良賃貸住宅の整備と入居者家賃を支援する。
事業効果又は進捗状況	H21年度までに80戸が整備され、高齢者のニーズに即した入居率を確保している。H22年度は25戸を整備し、居住促進に寄与した。

・住宅用地等購入資金利子補給事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H24年度
事業概要	個人が住宅用地を購入し住宅を建設した場合に、利子の一部を支援する。
事業効果又は進捗状況	H22年度までに6戸認定し、戸建住宅の整備促進に寄与した。

・まちなか住宅団地整備費補助事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H24年度
事業概要	500㎡以上の一団の住宅団地の整備を支援する。
事業効果又は進捗状況	H22年度までに実績無し。需要を見極めている状況で、継続して制度利用のPRに努める。

・福井の伝統的民家普及促進事業（越前市）

事業完了時期	【未】H27年度
事業概要	福井の伝統的民家に指定された町屋、蔵の整備に対し支援する。
事業効果又は進捗状況	H22年度までに実績無し。H23年度から支援制度を創設し、伝統的民家の保存改修を支援する。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

計画された事業は概ね予定どおり着手されているものの、生産年齢人口の流出が止まらず、目標達成は困難な状況にある。

中心市街地に特化した居住促進の支援制度により、民間活力による共同住宅の整備は進んでいるものの、居住人口は減少傾向に歯止めがかからない。特に生産年齢人口の落ち込みにより、高齢化率は37.5%と高く、これ以上の人口流出に歯止めをかけ、消費需要を喚起させる必要がある。今後は家族世帯向けの共同住宅や戸建住宅の整備促進を図る。

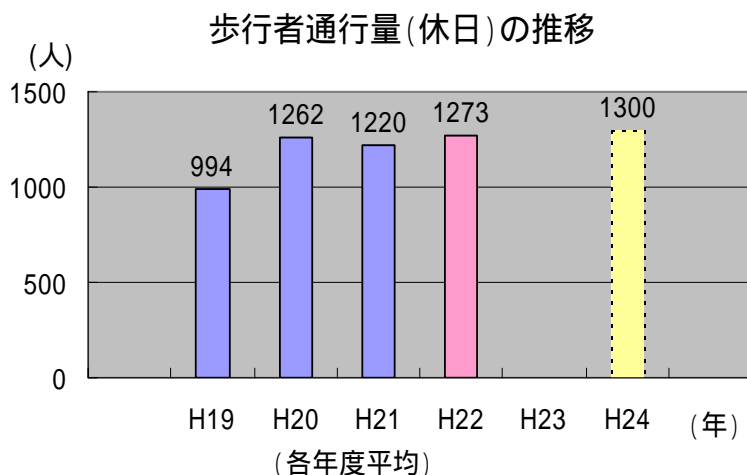
空き家が約300件に上り、一部老朽化が進み放置されている事例も多く、また土地の権利が複雑化しているため流動化しない課題がある。今後は戸建住宅の改築や低未利用地の利活用促進を図る。

高齢者の中心市街地への居住ニーズは高く、今後も共同住宅の整備促進を図る。

・目標「交流人口の増加」

「休日の歩行者数」 目標設定の考え方 基本計画 P 50 ~ P 60 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19	994 (基準年値)
H20	1,262
H21	1,220
H22	1,273
H23	
H24	1,300 (目標値)

調査方法；交通量調査（毎年度5月、8月、10月の3回実施）

調査月；毎年度5月、8月、10月実施

調査主体；越前市

調査対象；休日の歩行者数を5地点計測、合計し、年度平均値を算出。

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・ 元が辻・タンス町周辺地区回遊コース整備事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H24 年度
事業概要	回遊コースの道路景観整備、ポケットパークを整備する。
事業効果又は進捗状況	H22 年度までにタンス町通り、本町寺社群界隈の景観舗装の整備が完了し、回遊コースとして魅力ある街並み景観形成に寄与した。

・【追加】街なみ景観整備助成事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H24 年度
事業概要	景観計画重点区域において、住民が主導する景観協定区域内の住宅、店舗の改修、新築に係る工事費を支援する。
事業効果又は進捗状況	四町地区内の住宅、店舗、駐車場などH21 年度までに 5 件認定し、H22 年度 5 件認定した。魅力ある街並み景観形成に寄与した。

.【追加】蔵の辻憩いの広場整備事業（越前市）

事業完了時期	【済】H22 年度
事業概要	イベント開催の利便性向上のため、電気設備、給排水設備を整備する。
事業効果又は進捗状況	H22 年度までに、外部用電源設備の増設や、給排水設備3基を蔵の辻に整備したことにより、イベント開催時の利便性が向上した。

. 時間制駐車場確保事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H24 年度
事業概要	空き地を賃貸借で活用し、来街者用駐車場として開放する。
事業効果又は進捗状況	短時間利用可能な駐車場として機能し、県外からの観光バス駐車場として活用できたことで、交流人口の増加に寄与した。

. 蔵の辻・商店街活性化事業（壱の市実行委員会、武生商店街連盟 外）

事業完了時期	【実施中】H24 年度
事業概要	蔵の辻にて「市」などのイベントを開催する。
事業効果又は進捗状況	壱の市、参の市、関連イベントを年間 22 回開催し、来場者数 25,700 人（前年比 25%増）で、交流人口の増加に寄与した。

. まちなか観光 P R ・観光客誘致事業（越前市、タケフ都市開発(株)、武生観光協会）

事業完了時期	【実施中】H24 年度
事業概要	旅行エージェントに対するツアー企画を誘致する。
事業効果又は進捗状況	H22 年度は郊外の観光集客施設とタイアップし、県外からバス 288 台 10,772 人が訪れ、まちなか観光、散策を楽しんだ。

.【追加】まちなか観光・賑わい創出事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H23 年度
事業概要	まちなか観光案内所「まちなかプラザ」を拠点に、まちなか観光情報や蔵の辻界隈のイベント情報を観光客に提供する。
事業効果又は進捗状況	H22 年度入館者数 17,449 人（前年比 64%増）、まちなか観光情報の提供や観光バスツアー対応、商店街販促イベント会場として機能した。

. まちなか事業・地域助け合いビジネス開業支援事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H24 年度
事業概要	新規事業主に対し、家賃、設備等の補助を行い、まちなかでの開業支援を行う。
事業効果又は進捗状況	H21 年度までに 18 件認定し、H22 年度 4 件認定した。まちなかでの魅力ある個店づくりに寄与した。

・【追加】おもてなしの店等推進事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H24 年度
事業概要	店舗の内外装改造やトイレ、休憩所設置工事に対する費用補助により、魅力ある個店づくりを支援する。
事業効果又は進捗状況	H21 年度までに 4 件認定、H22 年度は 1 件認定。トイレ、休憩所併設による利便性向上。

・ 武生公会堂記念館文化力向上事業（越前市）

事業完了時期	【実施中】H24 年度
事業概要	歴史博物館機能の充実と館蔵品展、特別展、「えちぜん学・集・楽」の開催。
事業効果又は進捗状況	H22 年度入館者数 17,864 人(前年比 1%減)。まちなか散策の拠点施設として、地域資源を展示公開し、まちなかへの集客を高めた。

・ J R 武生駅のバリアフリー化設備整備事業（J R 西日本）

事業完了時期	【済】H22 年度
事業概要	駅舎内にエレベーター付き跨線橋を整備する。
事業効果又は進捗状況	H22 年度完成、供用開始により、駅舎内を移動する乗降客の利便性が向上した。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

計画した事業は概ね予定どおり着手されており、その成果として交流人口は増加傾向にあり、目標達成は可能と見込まれる。

第1・3日曜日の蔵の辻「市」の定期開催や、まちなか観光ツアー企画の推進、魅力ある個店づくりが進んでいることも要因として挙げられる。

特に、県外から多くのまちなか観光ツアー客が多く訪れたことから、今後も継続して誘致発展させていくため、課題の受入態勢や支援体制の見直しを検討する。

市西部に立地していた大型商業施設シピィの閉店に伴い、中心市街地への集客を高めるため、魅力ある個店づくり支援による商業機能の充実と賑わい創出を図り、周辺観光施設、イベント、芸術文化活動及び公共交通機関との連携を図ることで、中心市街地の利便性、快適性の向上を推進する。